

# 晩抽性品種「敬紅」を用いた4～5月どりニンジンの不織布べたがけ・無被覆マルチ栽培

10～5月の平均気温により、13℃地域では不織布べたがけ、16℃地域では無被覆のマルチ栽培で4～5月どり出荷が可能となる。

## 背景・目的

- ・ニンジンの4～5月どりは、低温期を経過する栽培となり、肥大促進や抽苔抑制のため、ポリ等によるトンネル被覆が行われている。
- ・本県の温暖な気候と地球温暖化を利用することで、露地栽培では低コストの簡易被覆や無被覆栽培が可能である。
- ・4～5月どりニンジンの不織布べたがけや無被覆による省力低コスト栽培について検討する。

## 成果の内容

大隅地域(13℃)では、不織布べたがけマルチ栽培で10月上旬～11月上旬播種、熊毛地域(16℃)では、無被覆マルチ栽培で10月下旬～11月下旬播種が適する。

### ①不織布べたがけマルチ栽培(大隅地域)

収穫期	播種期	可販重量 (kg/a)	積算温度 (℃日)
4/上	10/上	732	2,111
4/上	10/中	590	1,902
4/中	10/中	435	2,077
4/中	10/下	419	1,884
4/下	10/下	425	2,042
5/中	11/上	415	2,214
5/下	11/上	420	2,411



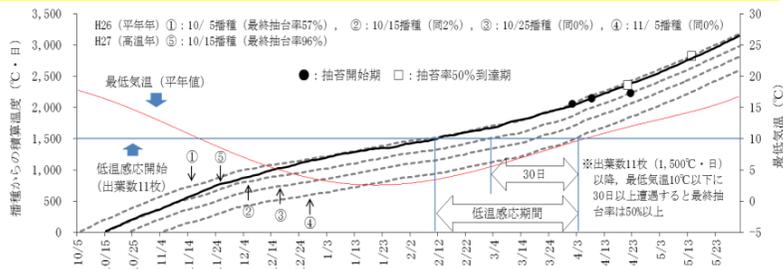
### ②無被覆マルチ栽培(熊毛地域)

収穫期	播種期	可販重量 (kg/a)	積算温度 (℃日)
4/上	10/下	700	2,263
4/中	10/下	554	2,474
4/下	11/上	518	2,477
5/上	11/中	497	2,479
5/中	11/中	478	2,627
5/下	11/下	510	2,670



注) 積算温度は大隅支場内の気象観測装置の外気温データを使用

播種後の積算温度1,500℃以降、最低気温10℃以下に30日以上遭遇した場合、収穫が遅れると抽苔が発生しやすいため収穫適期を逃さないように注意！！

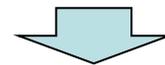


導入メリット

## トンネル栽培に比べて低コスト栽培が可能

○トンネル栽培を省力・低コスト化

トンネル栽培: 35千円/10a



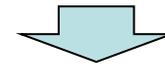
不織布べたがけ栽培: 17千円/10a

無被覆栽培: 0円/10a

○高単価期に出荷が可能

1～3月単価: 121円/kg

(H24～28東京市場月別平均単価)



4～5月単価: 148円/kg

(H24～28東京市場月別平均単価)

○収穫日予測で、品質低下

## 期待される効果

- ・収穫日を予測した高単価期の計画的な低コスト生産が可能となり、所得向上に期待。

鹿児島県農業開発総合センター大隅支場園芸作物研究室・熊毛支場園芸研究室

### 普及対象・範囲

不織布べたがけマルチ栽培

10～5月平均気温13℃(例: 鹿屋)

無被覆マルチ栽培

10～5月平均気温16℃(例: 種子島)